

## 日産厚生会佐倉厚生園病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名	看護補助者からみる医療安全についての意識調査
当院の実施責任者	(所属) 看護部 (氏名) 宮本貴枝
他の研究機関および各施設の 研究責任者	
研究の目的	病棟勤務の看護補助者は身体的精神的サポートだけでなく、患者の情報として重要な排泄、食事摂取量の記録や快適な環境を提供するために、私物管理やテレビ視聴準備など多岐にわたります。このような状況で度々、補助食品の記入漏れや入院、転棟時のテレビ視聴の申し送り忘れ、私物紛失などが起きていました。本研究はインシデントレポートの意義や防止策が正しい認識で周知され、医療の質、安全の向上に繋げる為に、看護補助者を対象にインシデントアクシデントレポートについての意識調査を行い、PsSHELL モデルを用いて事例検討、先行研究や文献から考察し、0~1 レベルのインシデントが起こる要因を明らかにすることを目的とします。
研究の方法	看護補助者に属性、勤務年数、レポート作成経験の有無、インシデントに対する意識等、質問紙法でアンケート調査しデータ化。2023年1月から2024年5月までの間に報告された看護補助者が関わるインシデントレポートの件数、内容をデータ化。認識の差異は何が最も影響があるのかを分析。当事者を含めた5つの要因から分析するPsSHELLモデルを用いて事例検討。先行研究との比較、文献を基に考察します。
対象となる方	当院看護部所属 看護補助者 カルテに記載のあるインシデントレポート対象患者様
調査期間	2024年1月1日~2024年5月31日
使用する情報・試料	カルテに記載のあるインシデントレポートを利用します
個人情報の取り扱い	本研究に係るすべての研究者は、「ヘルシンキ宣言」、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」ならびに「個人情報保護法」を遵守して実施します。研究実施に係る試料・情報を取扱う際は、研究独自の番号（研究対象者認識番号）を

	<p>付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。また、研究の結果を公表する際は、氏名、生年月日などの直ちに研究対象者を特定できる情報を含まないようにします。また、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の試料・情報を使用しません。</p>
<p>試料/情報の他機関への提供有無、および提供方法</p>	<p>他機関への提供はありません。</p>
<p>本研究の資金源（利益相反）</p>	<p>本研究に関し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>お問合せ先</p>	<p>公益財団法人日産厚生会佐倉厚生園病院  (所属) 看護部  (氏名) 宮本貴枝  (電話番号) 043-484-2161</p>
<p>備考</p>	